

「海外交流研修成果報告」

大沼中学校2年 池田 慈英

僕は、今回の研修を通して、これから二度と体験できないようなとても素晴らしい体験をたくさんすることができました。

出発前は、前日まではとても「明日から海外に行く」なんて雰囲気は全くない、普段と変わらない生活を送っていましたが、いざ出発となったときには突然緊張や不安などの感情が湧き上がって、とてもつらい思いをしました。

ですが、飛行機に乗った時にはもう、そんな感情はなくなっていて、海外でどんなことをしたいか、どんな場所を見てくるのか、どんなおみやげを買おうか……そんな期待の気持ちでいっぱいでした。

函館からアメリカへの旅路の中で、他の研修員である生徒の皆さん、大人の方とも交流を深めていきました。皆さんそれぞれが個性あふれる方々で、今後の研修へ向けての不安なことなどを冗談を交えながらしっかり話し合うことができました。

成田空港から13時間、ボストンの空港へ到着。空港では、テロや密売などの防止のために、到着した人の中から無作為に数人を引き留め、手荷物などをすべて検査する作業が行われていました。そして僕はあいにくそれに引っかかり、他の研修員の皆さんを待たせることとなってしまいました。普段からくじ運の悪い僕ですが、こんな時にも運の悪さが働いてしまいました。そして、その検査を無事に終え（何もやましい物は持って行ってません）、コンコードへ行くスクールバスに乗りました。

スクールバスの中で夜景を楽しんでいたら時間はあっという間に過ぎ、歓迎パーティの会場に到着しました。会場で、自分のホームステイ先の家族と初対面しました。僕のホームステイした家族は「サン」さんの家族です。会社を経営しているお父さんのジアンさん、いつも優しいお母さんのユインさん、日本のアニメやゲームが大好きなケビン君、元気いっぱいのアニーちゃんの四人家族です。

歓迎パーティを終え、家族と一緒にホームステイ先の家に向かいました。そこで初めて家を見ての感想は、「でけえ…」の一言でした。サンさん一家の家は日本でいうところの豪邸でしたが、後に家族に聞いた所、「コンコードは高級住宅街が多く、こんな家はまだ小さいほう」とのことでした。

時刻はすでに午後八時だったので、その日はすぐに寝る支度をして寝ました。

次の日、朝起きたのは午前3時でした。まだ時差ボケが治らず、三時には目がぱっちり覚めてしまいました。6時頃まですこし記録などをしました。

毎日の朝ごはんは、ケビンが僕のを作ってくれました。ちなみに初めての朝食はフランスパンと両面焼きのタマゴでした。ケビンの作る朝食は塩加減が最高で、毎日の朝食がとても嬉しかったです。

その日は、学校でケビンと物理、数学、現代語(?)の授業を受けました。ケビンと通った学校は高校なので、その授業はまだ中学生である僕には到底理解できない内容でした。

別の日には、僕が日本から持ってきたお土産を家族に渡しました。手ぬぐいや箸、日本のお菓子やマンガなど、いろいろなものを渡すたび、家族は大きくリアクションを取ってくれたりなど、英語がわからなくても嬉しい気持ちが伝わってきました。

また別の日には、ケビンとお父さんとの三人でボストン市内を観光しました。マサチューセッツ工科大学や、ボストン美術館など、一度行ってみたい場所に連れて行ってくれました。また、大都市であるボストンには大きなビルが建ち並び、上を見上げると空が見えにくいくらいになっていて、とても新鮮でした。

ケビンは日本のアニメやゲームが大好きで、特に日本のアニメについてはアニメ好きである僕を遥かに超える知識を持っていて、とても驚きました。また、ある日の夜には一緒にいろいろなゲームを遊びました。一人で遊ぶゲームを交代で遊んだり、対戦型ゲームでお互い一喜一憂したり……ケビンとゲームで遊んだ記憶は数えきれません。また、一緒に動画投稿サイトの動画を見て、一緒に笑い転げたり、驚きで飛び上がったりしました。言語は違えど、共通の趣味で盛り上がる事ができ、とても楽しい経験をできました。

アメリカで過ごす最後の日。ホストファミリーとお別れをし、ボストン市内の観光をしました。ダックツアーで水陸両用車に乗り、大きなタワーの上で写真を撮り、レッドソックスの球場に行き、JFケネディの生家に行き……いろいろな思い出ができました。

そんな楽しい時間はあっという間に過ぎ、最終日に、ボストンから日本へ帰ってきました。一緒に旅した研修員のみなさんともお別れをすることになり、少し寂しくなりました。家に帰る途中、親といろいろな思い出を話しました。そして、家に帰ってすぐに寝ました。

七飯町の姉妹都市であるコンコードは、どこか僕の住む大沼と似ているなあ、と改めて思います。豊かな自然や人々の温かい心、そして他の人と協調する気持ちは、とても素晴らしかったです。また、今までテレビでし

か見たことのない「外国」、つまり日本以外の国がどんな国であるか、五感で感じることができ、素晴らしい経験ができました。今回の研修で学んだことを、未来の自分の人生に活かして行きたいと思います。



ケビン君と自分で記念撮影



スクールバスと町並み